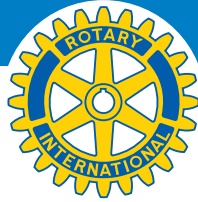


四つのテスト

言行はこれに
照らしてから

1. 真実かどうか？
2. みんなに公平か？
3. 好意と友情を深めるか？
4. みんなのためになるかどうか？



例会場：厚木アーバンホテル

例会日：毎週金曜日 12:30～13:30

事務局：厚木市栄町1-16-15 厚木商工会議所2階

厚木県央ロータリークラブ令報

<http://www.ken-ou-rotary.gr.jp/> e-mail : info@ken-ou-rotary.gr.jp TEL : 046-222-5811 Fax : 046-222-5821

**UNITE
FOR
GOOD**

よいことの
ために
手を取りあおう

2025-26年度

RIメッセージ

「よいことのために手を取りあおう」

厚木県央ロータリークラブ テーマ

「心に響く親睦 心に響く奉仕」

会 長 山口昌興

副会長 土屋義行

幹 事 佐藤新也

第1239回例会 (2026年5月30日)

■点鐘 …山口昌興会長

■斉唱 …

■ゲスト紹介

食品ロス問題ジャーナリスト 井出留美様

■会長タイム

皆さん、こんにちは。本日は公開例会にご参加いただき、誠にありがとうございます。

本年度、厚木県央ロータリークラブでは「未来の子どもたちのために」という思いを込めて、食品ロスの問題について地域の皆さまと共に考える活動を進めてまいりました。

日本では、まだ食べられる食品が毎日大量に捨てられ

ています。その一方で、食品を生産するためには多くの水やエネルギー、そして人々の努力が使われています。食品ロスは単なる「もったいない」の問題ではなく、気候変動や環境問題にも深く関わっています。

本日お迎えしております井出留美先生には、その食品ロスと気候変動の関係について、分かりやすくお話いただきます。

未来の子どもたちに豊かな環境を引き継ぐためには、特別なことをする必要はありません。食べ残しを減らす、必要な分だけ買う、食べ物を大切にすること。そんな私たち一人ひとりの小さな行動の積み重ねが、大きな力になります。

本日の講演が、皆さまにとって新たな気づきと行動のきっかけとなれば幸いです。それでは井出留美先生、どうぞよろしくお願いいたします。



公開例会「暑すぎる夏の解決法は食品ロスにあった?!」

講師：食品ロス問題ジャーナリスト 井出留美様

日時：2026年5月30日(土)

会場：厚木商工会議所 大ホール

Rotary
厚木県央ロータリークラブ 第23回 公開例会

暑すぎる夏の解決法は食品ロスにあった?!

2025年8月5日、群馬県伊勢崎市で国内最高気温の41.8度を記録しました。暑すぎる夏はコメや野菜、果物、畜産物、魚介類など食料生産にも影響を及ぼします。なぜ暑すぎる夏の解決法が食品ロスなのでしょう?当日はごみゼロの日(530)ですのでごみ処理にかかる税金のこともお話しします。

講師
食品ロス問題ジャーナリスト
井出留美様

ライオン、JICA 海外協会の旗、日本クラブ6段で、311 食料支援で発展に貢献を命じ食品ロスゼロ(食)offroad311 設立、食品ロス削減推進法成立に協力、世界的連合 Champions123メンバー、食品ロスを全国的に注目されるレベルまで引き上げたとして第二回食生活ジャーナリスト大賞(食文化部門)受賞、ニュース欄人オナーアワード2018/令和2年度 食品ロス削減推進大賞消費者庁長官賞受賞。

日時
令和8年5月30日(土)

開会 **会場**
14:00 厚木商工会議所 5F 大ホール
神奈川県厚木市栄町1丁目16-15
※駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください。

定員
先着150名

お問合せ
厚木県央ロータリークラブ
[\(https://ken-ou-rotary.gr.jp/\)](https://ken-ou-rotary.gr.jp/)
TEL 046-222-5811
(平日 9:00 ~ 17:00 迄)

お申込みは
こちらから



入場
無料



厚木県央ロータリークラブ公開例会にお越しいただき、誠にありがとうございました。

食品ロスジャーナリストの井出留美先生より「暑すぎる夏の解決法は食品ロスにあった?!」というテーマで、食品ロスと気候変動の関係について大変分かりやすく、そして興味深いお話をいただきました。特に、「水道の蛇口を閉める前に元栓を閉める」という例えや、デンマークでの先進的な取り組み、食品ロス削減が環境問題の解決につながるというお話は、多くの参加者の心に深く響いたことと思います。また、「ありがたいの気持ちを込めて食べ残しをゼロに」というメッセージは、私たち一人ひとりが今日から実践できる大切な行動として強く印象に残りました。

また地域の皆様にも多数ご参加いただき、熱心に耳を傾けておられました。講演後のアンケートでも、「食品ロスへの意識が変わった」「家族にも伝えたい」「今日からできることを始めたい」など、多くの前向きな感想が寄せられています。

私自身、養豚業に携わる立場として、食品を生産する責任と、その価値を最後まで活かすことの大切さを改めて考える貴重な機会となりました。

ご講演いただいた内容を、今後の地域活動や食育活動につなげ、未来の子どもたちへより良い環境を引き継いでいけるよう努めてまいります。





事



■出席報告 <会員 36 名、出席対象 34 名>

5月30日例会 出席 24 名 欠席 13 名 出席率 70.59%

事前メイク :

佐藤新也君(4月8日/厚木中RC)

